

あたらしきもの

京  
都

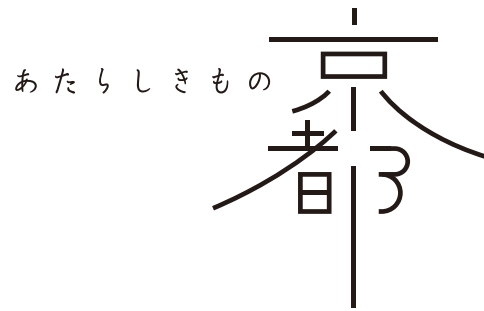
あたらしきもの京都

<http://www.atarashiki-mono-kyoto.com>

主催：京都商工会議所 ファッション京都推進協議会  
共催：京都府

事務局：京都商工会議所 中小企業経営支援センター  
〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上る  
TEL 075-212-6470 FAX 075-212-8871  
MAIL [bmpj@kyo.or.jp](mailto:bmpj@kyo.or.jp)

※2019年3月5日から下記に移転します  
〒600-8565 京都市下京区四条通室町東入る TEL 075-341-9781



「あたらしきもの京都」は、京都の事業者が日本全国に向けて新たに発信するものづくりプロジェクトで、今年で4年目を迎えました。

長い歴史と進取の精神に富む京都の伝統工芸や地場産業が持つ優れた素材と技術を、現代のデザインによってさらに洗練させました。

これらは、日々の生活に潤いと輝きをもたらす暮らしの道具ばかりです。ファッションアイテムやテーブルウェア、インテリア小物など、商品は多彩。しかもどれをとって見ても、そこには見慣れた京都のイメージを超える新しい表情と普遍の価値が宿っています。

“伝統の解放”に“破壊的創造”——。

そんな挑戦に満ちた「あたらしきもの京都」は、暮らしに喜びと感動をもたらし、日本の生活文化の進化に貢献します。

## 目次

4……ジェイハンズ

6……岡山工芸

8……ルシエール・ジャパン

10……丸和商业

12……丸進

14……丸二

16……寺島保太良商店

18……大西常商店

20……アマタ エムシーエフ

22……尚雅堂

24……熊谷聡商店

26……土田人形

28……太田重染工

30……井助商店

32……東五六

34……MURAGISHI

## アドバイザーチーム

デザイナー

みやけかずしげ  
加藤広太  
梅野聡

セールスアドバイザー

田中智子  
金谷弘幸

コミュニケーションアドバイザー

下川一哉  
杉江あこ

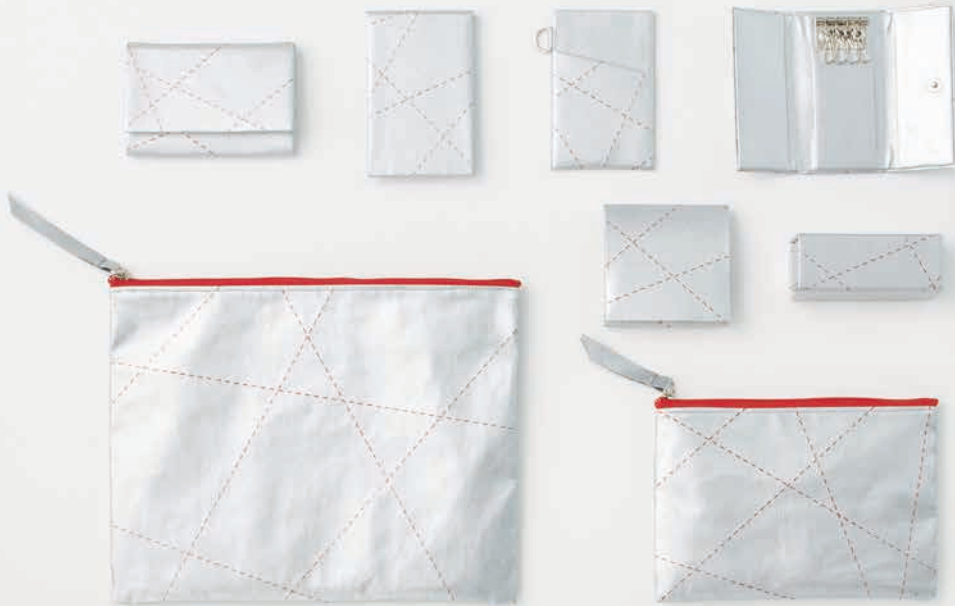
コーディネーター

西堀耕太郎

あたらしきもの京都カタログ2018  
2019年2月1日発行  
編集・文 下川一哉、杉江あこ  
写真 福尾行洋  
デザイン 久野真嗣  
発行 京都商工会議所

# Aurum

ジェイハンズ



“心の動き”をつくるもの

素材：ビニールレザー  
サイズ：  
ポーチS / H12×W18cm  
ポーチL / H20×W25.5cm  
コインケース / H8×W8cm  
カードケース / H7.2×W10.5cm  
バスケース / H10×W6.5cm  
キーケース / H10.5×W5.5cm  
リップアクセサリーケース / H4×W9×D3.5cm  
ミラー / H10.5×W6.7cm  
色柄：赤ステッチ、黒ステッチ

ポーチにコインケース、カードケース…。あれもこれもとつい揃えたいくなる魅力にあふれている。ジェイハンズの「Aurum」は男女問わず持つことができる、クールで機能的な小物入れブランドだ。銀色に輝くレザー調の本体に赤もしくは黒でさり気なく入ったステッチ柄は、よく見ると、糸で縫われ



代表取締役社長 山口雅也

〒600-8814 京都市下京区中堂寺庄ノ内町45-9  
Tel : 075-311-3521  
Fax : 075-323-1519  
Mail : yama@jhands.co.jp  
<http://www.jhands.co.jp>



ているのではない。なんと箔押しが施されている。これは主に名入れに利用する技術を応用したデザインだ。裁断した後に箔押しする工程であるため、どれを見てもステッチ柄が均等に配されている点も特長である。

ジェイハンズは和雑貨の製造加工と卸を営む会社だ。艶やかなちりめんや

小紋柄の生地を使用した張り箱をはじめ、様々な小物を製造する。多くの職人と連携し、1つひとつを丁寧に手づくりし、その魅力を伝えている。「もっと幅広い層に手に取ってもらいたい」という代表取締役社長の山口雅也の思いから、今回、自社のノウハウを生かした新ブランドの開発に至った。

# TONE & TONE

## 岡山工芸



### どんな時も“わくわく”するもの

素材：表地 / シルク  
裏地 / レーヨン  
サイズ：H16cm×W11.5  
色柄：雪輪、亀甲、七宝、桜、瓢箪、  
南天、蜻蛉、燕、兎

近年、一段と普及してきたお薬手帳。病院や調剤薬局へ出かける時に気分が少しでも晴れやかになれば…。岡山工芸の「TONE&TONE」はそうした望みに応える薬帳・カードケースだ。持ち歩きを前提とするお薬手帳だが、世の中に出回るのは簡易なビニールケースがほとんどだ。「もっと上質な



代表取締役 岡山摩紀

〒612-0029 京都市伏見区深草西浦町8-2-2  
Tel : 075-643-4317  
Fax : 075-643-4320  
Mail : kimono@okayama-kougei.com  
<https://www.okayama-kougei.com>



専用ケースがあってもいいのでは」と、代表取締役の岡山摩紀は言う。

岡山工芸は、多くの職人を抱える手描京友禅の製造販売会社だ。昨年はその技術と技法を生かした金封袱紗と念珠入れを開発し、今年もまた「包む」ことに着目した商品開発に挑んだ。自社で考案した帯の図案から伝統文様、

植物、動物の3分野にわたる9柄を選び、新しくツートーンでデザイン。お薬手帳のほか、母子健康手帳や通帳も入れられる。さらに保険証や診察券などを差し込めるポケットも6つ備え、機能性を高めた。老若男女問わず持てるデザインで、父母への贈り物や還暦祝いなどのギフトにも向いている。

# & asa.co ワンマイルバッグ

ルシエール・ジャパン



## “人の手だけがつくれる”美

素材：麻(ラミー)、綿麻  
サイズ：S / H49×W19cm  
          L / H56×W30cm  
色柄：ライトブラウン・ストライプ  
          ×モスグリーン、  
          ブラック・ストライプ×ブラック、  
          ホワイト×ネイビー、  
          ライトブラウン×オフホワイト

「ちょっとそこまで」と近所へ出かける時に小物を入れて持つバッグを、近頃は「ワンマイルバッグ」と呼ぶ。買い物や外食、散歩には身軽がいい。ルシエール・ジャパンは手紡ぎ、手織りの麻(ラミー)の素材感を生かしたワンマイルバッグを開発した。ストライプと無地を合わせたデザインや、ナ



取締役 村田理恵

〒615-8101 京都市西京区川島東代町31-2  
Tel : 075-394-0230  
Fax : 075-394-0233  
Mail : info@leciel-japan.com  
<https://leciel-japan.com>



チュラルで清潔感のある配色に好感が持てる。レジ袋をモチーフにした形状もユニークだ。片側の紐をもう片側の紐に通せば、自然と口も締まる。

同社は、1975年に和装小物製造会社の村田工芸として創業。その後、創業者が中国で手紡ぎ、手織りの麻に出会い、麻生地の入販を始め、麻のれ

んやタペストリーの製造を得意とするようになった。2015年にはブローチ・コサージュ・ブランド「& asa.co」を設立。その発展形として「バッグ開発は長年の夢だった」と取締役の村田理恵は言う。麻は独特のハリ感とシャリ感を特徴とする。今回、それを前面に押し出した魅力的なバッグが完成した。

# コトノワふろしきサコッシュ

## 丸和商业



### “結ぶ、守る、伝える”未来

素材：綿  
サイズ：H25xW21cm  
色柄：赤、青、緑、黒

「結ぶ、守る、伝える」という3つの思いを大切にしながら、ふろしきの企画卸販売を営む丸和商业。伝統的なふろしきをはじめ、現代のライフスタイルに合わせたふろしきブランド「コトノワ」を意欲的に展開し、幅広い世代にふろしきの魅力を発信している。今回は同ブランドを発展させ、ふろし



代表取締役 林利治

〒604-8811 京都市中京区壬生賀陽御所町18-3  
Tel : 075-801-0536  
Fax : 075-811-7247  
Mail : info@furoshiki-kyoto.com  
http://www.furoshiki-kyoto.com

 丸和商业株式会社



きらしさを残しつつも、まったく新しいアイテムのサコッシュを開発した。サコッシュとは、元々、自転車競技中に選手に食べ物や水などを手渡すために使う「袋」のこと。薄くて軽量であることから、現在はショルダーバッグとしても人気がある。その名も「ふろしきサコッシュ」には綿生地を使用

し、ふろしきを折り畳んだ時に生まれる三角形をモチーフに、柄を1色で染め上げた。口は三角形の両面のペロを折り畳むだけの簡単なつくりにし、サコッシュ全体のアクセントとした。「洋小物なんだけど、着物や浴衣にも合う商品が出来た」と、代表取締役社長の林利治は新たな可能性に期待する。

# CRAZY STRAP

## 丸進



“はみ出した感性”から生まれるもの

素材：フェイクファー / アクリル、ポリエステル、レーヨン  
ラメテープ / ポリエステル、ナイロン、ポリウレタン  
スパンコール / ポリエステル、アクリル、ウール、キュブラなど  
レース / レーヨン、ナイロン  
パーツ / 亜鉛キャスト、鉄、POM、牛革、PP  
サイズ：L約95～120cm  
フェイクファー / W約5cm、ラメテープ / W約3cm  
スパンコール / W約3.8cm、レース / W約3.8cm  
色柄：フェイクファー / ブラウン×イエロー、  
ベージュ×ブルー  
ラメテープ / ブラック×スカイブルー、ゴールド×ピンク  
スパンコール / ブラック×レッド、ゴールド×パープル  
レース / ネイビー×オレンジ、シルバー×ターコイズブルー

その名も「CRAZY STRAP」。クレイジーの名に負けないくらい、フェイクファー、ラメテープ、スパンコール、レースを素材とした強烈なストラップが勢ぞろいする。裏地の色使いもポップだ。いったい何に付けるのか？それは使い手の自由だ。カメラやバッグなど、これは持ち物にファッション性を



代表取締役社長 野澤孝康

〒602-8205 京都市上京区中立売通松原町東入る  
Tel : 075-432-2131  
Fax : 075-432-2138  
Mail : info@marushin-kyoto.co.jp  
http://www.marushin-kyoto.co.jp  
http://line-r.jp

## 株式会社 丸進



求める人をターゲットとする。中でも「カメラ女子が狙い」と丸進の代表取締役社長、野澤孝康は言う。近年はカメラ好きの女性が急増し、何でも「インスタ映え」がもの選びの基準となった。お気に入りのカメラに個性的なストラップを付ければ、インスタ映えすることは間違いない。

同社は紐やリボン、レースなどの繊維副資材の企画卸販売を営む。「脇役である繊維副資材を主役にしたい」という思いから、数年前より自社商品の開発に挑んできた。これまではスタイリッシュな商品ばかりを生み出してきたが、既存路線を一度壊すことで、同社のものづくりの幅がより広がった。

# からみやび

## 丸二



代表取締役 西村和紀

〒600-8076 京都市下京区高辻通堺町東入 泉正寺町462  
Tel : 075-361-1321  
Fax : 075-361-8876  
Mail : karakami@maruni-kyoto.co.jp  
http://www.maruni-kyoto.co.jp

京からかみ 



## 伝統を守り、“伝統から離れる”挑戦

素材：ブローチ・髪留め・ピアス  
/ 木(ホウ)、金具、ウレタン塗料  
蝶ネクタイ / 唐紙、突板、真田紐(絹、綿)、金具  
サイズ：ブローチ / φ4.5×D0.9cm  
髪留め / φ3×D1.5cm  
ピアス / φ1.6×D0.6cm  
蝶ネクタイ / H5×W11×D3cm  
色柄：ブローチ・髪留め・ピアス  
/ 東大寺型、光悦桐、遠州緞子、笠松など  
蝶ネクタイ / 宝尽くし、牡丹唐草、  
波につぼつぼなど

愛らしい木彫のブローチや髪留め、ピアス、蝶ネクタイ。表面に施された繊細な彫りは、実は唐紙を摺る時に用いられる版木である。丸二は表具や襖紙など和室内装材の販売会社で、その主力商品として唐紙を自社製作している。京都でつくられる唐紙は「京唐紙」と呼ばれ、版木を使い、雲母(うんも)

や胡粉(ごふん)などの顔料を載せて伝統文様を鮮やかに摺る。

唐紙を広く知ってもらうきっかけとして、同社は唐紙を使った文具やアートパネル、版木スタンプなどを開発してきた。今回はさらに「唐紙にまったく馴染みのない人にも触れてもらいたい」という代表取締役の西村和紀の思

いから、若い人でも関心を持ちやすいアクセサリの開発に至った。同社が保有する唐紙見本の中から柄を厳選し、ホウの木にレーザーカッターで彫り込み、ブローチや髪留め、ピアスに展開。また突板に唐紙を張り、曲げて蝶ネクタイをつくった。見た目のかわいらしさと唐紙や版木の魅力を伝える。



# 絲 tabane preta

寺島保太良商店



1つのものに“完結しない”

素材：純金糸、純銀糸  
サイズ：L84×W1cm  
色柄：金、銀、金×銀

最高級の純金糸を使ったジュエリーブランド「絲 tabane」に、セカンドラインが誕生した。純金糸とは細く裁断した純金箔を芯糸に纏ったもので、本金ならではの見事な輝きを放つ。手がけたのは、1897年より金銀糸製造を行っている寺島保太良商店だ。元々、金銀糸は皇族や貴族の衣装に用いられ、



代表取締役 寺島大悟

〒603-8246 京都市北区紫野西泉堂65-2  
Tel : 075-495-7111  
Fax : 075-495-7117  
Mail : info@terayasu.com  
<http://www.terayasu.com>



株式会社 寺島保太良商店



明治時代より庶民にも広まった。現在は西陣織や力士の化粧まわし、祭礼の刺繍幕などに使われている。代表取締役の寺島大悟は「多くの人々に金銀糸の美しさを伝えたい」との思いで、ジュエリーデザイナーとともに一般市場に向けた商品開発に取り組んできた。

今回、開発したセカンドラインは、

若い女性やカジュアルスタイルに似合うジュエリーだ。やや太めの純金糸を2本纏りしたシンプルなデザインが特徴。一重にすればロングネックレスに、二重にすればチョーカーに、三〜四重にすればブレスレットになる。このように自由な使い方を提案し、使い手にお洒落を気軽に楽しんでもらう。

# かざぶち

大西常商店



## 技を生かし、“技から離れる”こと

素材：竹、磁器（清水焼）、エタノール、  
水、香料  
サイズ：H16.5×φ3.8cm(容量50ml)

扇子がルームディフューザーになるとは、誰が想像しただろう。元々、扇子には香料をまとわせた商品が多く、扇いで涼を取ると同時に、ふわりと漂う香りを楽しむ文化がある。なぜなら竹は吸水性と保水性に優れるため、薄く加工した扇骨を香液に一瞬浸すだけで、およそ1年は香りが持続するから



営業企画担当 大西里枝

〒600-8086 京都市下京区松原通高倉西入る本燈籠町23番地  
Tel : 075-351-1156  
Fax : 075-341-8220  
Mail : otoiwase@ohnishitune.com  
<http://www.ohnishitune.com>



大西常商店  
OHNISHI TSUNE SHOTEN



だ。京扇子の製造卸と小売を営む大西常商店の大西里枝はこの扇骨の機能に着目し、昨年、ルームディフューザー「かざ」を開発した。かざとは香り。京言葉で良い香りがすることを「ええかざどすなあ」と言うのである。

今年は「かざ」をさらに発展させ、洗面所やトイレなど限られたスペース

でも設えられる小型の「かざぶち」を開発。場所を選ばず、香りを手軽に取り入れられる機会を増やした。また今後、香りを持ち運ぶための道具「うつし香」の商品化も予定している。「これはハンドバッグや胸ポケットなどに入れて持ち運び、出先やオフィスで香りを嗅ぐもの」と大西は明かした。

# 初鏡

アマタ エムシーエフ



## 価値の“再発見、再認識、再発信”

素材：真鍮  
サイズ：  
ペンスタンド / H8×φ5.4cm  
一輪挿し / H12.5×φ6.6cm  
ブックエンド / H7.1×W12×D3.7cm  
ペーパーウエイト / H2×φ5.4cm  
プランターカバー / H10×φ12.5cm

「現代の暮らしの中に象嵌商品を取り入れたい。それが京象嵌を再興させるきっかけになれば」と、アマタエムシーエフの網田奈央は思いを語る。同社は1932年に京象嵌の販売会社として創業し、徐々に事業を広げ、現在は社章やメダル、ベルトバックルなどの金属加工を幅広く行っている。京象嵌



網田奈央

〒601-8380 京都市南区吉祥院新田下ノ向町1アマタビル  
Tel : 075-661-6001  
Fax : 075-661-8261  
Mail : zogan@amitacorp.co.jp  
<http://www.amitacorp.co.jp/mcf>

 **アマタ エムシーエフ株式会社**  
AMITA METAL CRAFT FACTORY



に思いが向くのは、それが創業時のアイデンティティであるからだ。

「初鏡」は同社の技術の粋を集めた生活雑貨ブランドである。ペンスタンド、一輪挿し、ブックエンド、ペーパーウエイト、プランターカバーの5点すべてが円柱か半円柱の造形となっており、その底面か側面にはつばが付属さ

れている。象嵌を取り入れたのは、このつばの部分だ。アールデコ調の幾何学模様をつば全面もしくは部分的に象嵌し、それを本体の曲面に映り込ませるようにした。本体は真鍮の鏡面仕上げのため象嵌をきれいに映し出す。暮らしに上質な調度品を求めたい人に向けてこれを提案する。

# 和綴じクロック

尚雅堂



和綴じを“もっと自由に”

素材：

和紙(黒谷和紙 手漉純楮 8 匁 手揉み)

サイズ：φ27×D2.5cm

色柄：生成り、黒

和室にも洋室にも合う、ユニークな和紙製の掛時計が誕生した。時刻を示す文字盤の数字は、印刷で数字や線が記されているのではなく、なんと糸で表現されている。その名も「和綴じクロック」は、色紙や短冊、和本帖メーカーの尚雅堂が開発した商品だ。京都で生産される貴重な手漉き和紙「黒谷



代表取締役 松尾安浩

〒616-8117 京都市右京区太秦門田町4-1

Tel : 075-881-8488

Fax : 075-861-9321

Mail : info@shogado.co.jp

http://www.shogado.co.jp



尚雅堂



和紙」の揉み紙を全面に張り、そこに伝統的な和綴じを施した。ムーブメントはリズム時計工業に依頼。ナチュラルな色合いの和紙に同色の糸を組み合わせたデザインは、目立ちはしないが、だからこそインテリアに馴染む。

そもそも色紙や短冊、和本帖は、和歌や書などをたしなむ人にしか馴染み

のない商品のため、同社は2003年頃からオリジナル和文具を展開し使い手を広げてきた。「時計は企画したことのない分野だったため、挑戦しがいがあった」と代表取締役の松尾安浩は言う。精密機械ゆえに開発は一筋縄にはいかなかったが、苦労の甲斐あり、規存商品にはない時計が完成した。

# きょうとけい

## 熊谷聡商店



※写真の掛時計はサンプルです

## 創造への“挑戦”

素材：磁器

サイズ：掛時計 / 直径約28×D約4cm

(重量 約 990 g)

置時計 / 直径約14×D約6cm

(重量 約 450 g)

色柄：白、銀藤、緑など 13 色

陶磁器製の時計というと、外側のみを陶磁器でつくり、中に文字盤をはめ込んだ形式か、平板の陶磁器に凹凸を施して文字盤を表現した形式であることが多い。その点、熊谷聡商店が開発した時計はありそうでなかったデザインである。掛時計と置時計の2種類あり、いずれも立体的で、数字の部分を



代表取締役社長 熊谷隆慶

〒607-8322 京都市山科区川田清水焼団地町9-5  
Tel : 075-501-8083  
Fax : 075-501-5876  
Mail : info@kyoto-kumagai.co.jp  
http://www.kyoto-kumagai.co.jp  
http://kplus.kyoto-kumagai.co.jp



細長い穴で表現したのだ。シンプルなデザインに徹したために、同社が得意とする、花卉のような光沢を持つ磁器「花結晶」の魅力が引き立って見える。いずれも重量は1 kg 以下で、掛時計はフックに掛けるだけで設えられる。

「香炉の蓋から発想した」と、代表取締役社長の熊谷隆慶は種明かしをす

る。立体的な被せの形状と細長い穴は、確かに香炉の蓋を思わせる。同社は1935年の創業以来、京焼・清水焼の産地問屋を営んできた。最近ではインテリア用品の開発に積極的に、時計は以前から挑戦したいと考えていたアイテムだ。今回、リズム時計工業に協力を仰げたことが、商品開発に拍車を掛けた。

# 願掛け人形

## 土田人形



### 一歩前進、“いつまでも前進”

素材：陶器

サイズ：

まねくねこ / H7.2×W5.5×D4.9cm

かつだるま / H5.6×W5.4×D5.2cm

ふくふくろう / H7×W4.4×D5.9cm

商売繁盛、家内安全、必勝祈願、開運祈願…。日本では祈りを表した縁起物の置物が好まれる。その代表が招き猫、だるま、ふくろうの3つだろう。京都の伝統工芸「京陶人形」の企画製造販売を行っている土田人形は、この3つに着目した「願掛け人形」を開発した。その名も「まねくねこ」「かつ



代表取締役社長 土田博之

〒615-0915 京都市右京区梅津南町1-10  
Tel : 075-871-6834  
Fax : 075-871-6845  
Mail : tutida@maia.eonet.ne.jp  
<http://www.tutida-ningyo.com>

## 土田人形



だるま」「ふくふくろう」である。

京陶人形は土人形の種類で、成型し素焼して顔で彩色し、顔を描き入れて仕上げる。「願掛け人形」もこの工程に沿っているが、彩色は白1色とし、顔を描き入れずに仕上げた。あえてミニマムなデザインにすることで、現代の暮らしの中に取り入れやすくしたの

だ。白1色だけで猫、だるま、ふくろうの姿を表現するには、代表取締役社長、土田博之の原型づくりの腕が問われた。「ふくろうが難しかった。モコモコした柔らかい毛並みを表現しつつ、どこまでデフォルメすればいいのかに苦心した」と言う。また、パッケージにもキャッチーさを取り入れた。

# toy art カット & フェイス

## 太田重染工



### “シンプルに宿る”喜びの発見

素材：帆布(綿)

サイズ：H40×W110cm

色柄：レッド×ブルー×イエロー、  
ターコイズブルー×ピンク×ベージュ、  
グレー×エンジ×サックスブルー

円や三角、四角のカラフルなグラフィックが載った大きな布。なんと、これは福笑いだ。ピクニック用の敷物としても活用できるが、この円や三角、四角のパーツをはさみで切り取って、福笑いをして遊んでもらうことが狙い。1枚の布に顔、髪、目、眉毛、鼻、口が3種類ずつ載っている。布はがま



専務取締役 太田匡信

〒606-8232 京都市左京区田中古川町24番地  
Tel : 075-791-2151  
Fax : 075-712-3355  
Mail : s-ootaju@agate.plala.or.jp  
[http://www13.plala.or.jp/j\\_ohata](http://www13.plala.or.jp/j_ohata)  
<http://cuttoy.jp>

# OHTAJU



口や鞆に用いられる厚手の11号帆布であるため、紙と同等の使用感がある。また、子供用の安全はさみで切ることもできるので、子供のはさみの練習台にもいい。福笑いをした後は、パーツをワッペンとして子供の鞆や帽子に縫い付けることもできる。そんなユニークな布を開発したのは太田重染工だ。

同社はローラー捺染を専門とするOEMメーカーで、通常はパジャマやふきんなどに用いられるプリント生地量の産に携わっている。ローラーに工夫を施し、色の濃淡やクレヨンタッチのムラを表現することも同社の得意技術だ。「ぜひ家族皆で遊んでほしい」と専務取締役の太田匡信は提案する。

# こわんさら

## 井助商店



### 様式を“ライフスタイルに進化”

素材：木、漆

サイズ：小碗 / H5.5×φ9cm

大碗 / H6.5×φ10.5cm

小皿 / H2.2×φ10.5cm

大皿 / H3.7×φ21cm

色柄：干支12種

歩き始めの赤ちゃんが初めて履く靴を「ファーストシューズ」と呼ぶが、これに倣うと、「こわんさら」はまさに「ファースト漆器」と言うべき商品だ。

「子どもの頃から本物の漆器に触れてほしい。その良いきっかけとなるのがお食い初め。ただし1回切りではなく、普段にも使える食器を目指した」



代表取締役 沖野俊之

〒600-8066 京都市下京区柳馬場通五条上る柏屋町344番地  
Tel : 075-361-5281  
Fax : 075-361-5285  
Mail : shikki@isuke.co.jp  
<https://www.isuke.co.jp>



と井助商店の代表取締役、沖野俊之は話す。およそ生後100日目に行うお食い初めは、一汁三菜に歯固めの石を加えた様式的な食事である。それらがお膳付きの漆器に盛られるが、その後の出番は残念ながらあまりない。

漆の精製販売と漆器の企画開発を行っている同社は、一汁一菜を盛るこ

とができる、入れ子の碗2客と蓋にもなる皿1枚をセットにし、漆器のスターターキットとして提案する。塗りは木目を生かした拭き漆だ。碗の底を厚くして安定感を高め、子供でも手に持ちやすいよう、高台付近にわずかな段差を設けた。見込みに施した、干支の蒔絵がワンポイントとなっている。



# うたげ

## 東五六



### 使い手が“価値を発見”できるもの

素材：磁器

サイズ：箱皿 / H4×W17.5×D17.5cm

18cmプレート / H0.6×φ18.5cm

28cmプレート / H0.7×φ28cm

色柄：黒銀(無地)、黒銀(水玉紋)

京都・清水寺の参道は「茶わん坂」と呼ばれ、清水焼発祥の地とされている。この通りに京焼・清水焼の専門店を構えるのが東五六だ。ここで主に観光客に向けた商売をしているほか、業務用食器の企画開発を行っている。専務取締役の浅井洋平は「今やテーブルウェアは飽和状態にある」と分析した



専務取締役 浅井洋平

〒605-0846 京都市東山区五条橋東6-539

Tel : 075-561-0056

Fax : 075-561-6856

Mail : info@tohgoro.co.jp

http://www.tohgoro.co.jp

茶わん坂

# 東五六



うえで、「卓上のエンターテインメント」をテーマにした商品開発に挑んだ。同社が取引する陶芸作家の1人、小川宣之に製作を依頼し、モダンでアバンギャルドな世界観を表現した。

今回、開発したアイテムはプレート、箱皿、ボウル、小付の4種類。プレートは薄くフラットな形状で、箱皿は縁

を反らせて遊び心のある形状とした。表面に黒い釉薬をコテで表情を付けて塗り、ワンポイントに梨地のような銀彩を半円状に施した。プレートと箱皿を並べるとその半円が鮮やかにつながって見える。また箱皿をずらしながら塔のように積み重ねると、ホームパーティーなどで目を惹く存在となる。

# ロタンダ

## MURAGISHI



### 既存のものと既存のものとの“組み合わせ”

素材：山羊毛、PBT毛、ABS樹脂、アクリル樹脂  
サイズ：  
クレンジングブラシ / H6.5×φ2.5cm  
フェイスクレンジングブラシ / H7.5×φ3.5cm  
ボディブラシ / H4.5×φ7cm  
ボディブラシロング / H6×W30×D7cm  
トレイ / H4.2×W25×D10.5cm

中世の欧州でよく建設された円形建物を「ロタンダ」と呼ぶ。MURAGISHIが開発したバス用ブラシシリーズは、円柱形を基本にしたシンプルでモダンなデザインで、まさにロタンダを彷彿とさせる。フェイスブラシ2種、ボディブラシ2種、トレイの5点あり、トレイの円穴には石鹸を置き、そこにブラ



代表取締役 村岸直子

〒580-0032 大阪府松原市天美東6-1-5  
Tel : 072-332-3460  
Fax : 072-333-0605  
Mail : info@sakurado.kyoto.jp  
<https://www.rokkakukan-sakurado.com>



京都  
六角館さくら堂  
ROKKAKUKAN SAKURADO KYOTO



シを立てて泡立てて使用する。穂先は山羊毛と人工毛の混毛を採用した。「きめ細かな泡をつくり、肌当たりが心地良く、乾きも早い」と代表取締役の村岸直子は説明する。

同社は1941年に化粧小物の卸業として創業。後に大阪府松原市に工場を開設し、村岸産業を創立。OEMを中

心に化粧筆の製造販売を行ってきた。2010年にMURAGISHIを創立し、京都市に化粧筆専門店「六角館さくら堂 KYOTO」を開いた。創業者は広島県で生産されている熊野筆産業に貢献した実績を持つ。このように化粧筆で培った確かな技術が生かされ、極上のバス用ブラシシリーズが誕生した。